

支店運営 改善策を発表 大垣西濃信金が人材研修会

大垣西濃信用金庫は、全支店長35人を対象とした人材研修会を行っている。全3回で経営学の基礎やワンランク上の支店運営の仕方などを学ぶ。岐阜大応用生

物科学部の前澤重禮教授を講師に招いて行うもので、同金庫が支店長向けの人材研修を行うのは初めて。前澤教授は流通経済学や組織マネジメントを専門と



各支店長が担当する支店の課題と解決策について発表した第2回の人材研修会＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本部

している。4月に同大で社会人教育にも力を入れる社会システム経営学環が発足するのに当たり、同学環の教授に就く前澤教授による研修を企画した。

5日は第2回を大垣市恵比寿町と同金庫本部で開催。前澤教授が業務改善の提案をする方法について4つのステップに分けて説明した後、参加者が順番に担当する支店の課題と解決策について発表した。

各支店長は「支店内のコミュニケーションが不足している。こちらから働き掛け、部下から話し掛けてもらえる環境づくりができていなかった。毎朝必ず各部署に顔を出して話し掛けるようにしている」などと話した。初回は1月22日で、2月19日に最終回を開く。

(鈴木隆宏)